

平成30年度東部地区小・中学校「ステップ・アップ研修」実施報告

1 目的

小・中学校「ステップ・アップ研修」は、初任者研修を踏まえるとともに、1年間の教員としての経験をもとに現職教員研修の一環として、実践的指導力と使命感及び幅広い知見等のより一層の向上を目的とする。

2 期日・会場

7月24日(火)、8月 3日(金)
〈午前〉三郷市文化会館
〈午後〉三郷市立丹後小学校

3 受講者数 332人
小学校教諭 200人
中学校教諭 132人

4 日程

<第1日> 7月24日(火)

【午前】

- ・開講式
- ・講話「2年次教員に期待すること」
講師：東部教育事務所 所長 清野 定信
- ・講義1「東部の教育を担う教員について」
講師：東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当
主席指導主事 今木 敏浩
- ・講義2「生徒指導等に関する現状と課題」
講師：東部教育事務所 指導主事 須永 清司
- ・講義3「学級経営の充実」
講師：東部教育事務所 指導主事 岩見 奈津枝

【午後】

- ・協議1「生徒指導・教育相談上の課題と指導の工夫」
- ・協議2「学級経営上の課題と指導の工夫」
指導講評：東部教育事務所指導主事

<第2日> 8月 3日(金)

【午前】

- ・講義4「道徳教育の充実」
講師：東部教育事務所 指導主事 山本 直人
- ・講義5「よい授業のポイント（授業づくりについて）」
講師：東部教育事務所 指導主事 和田 進
- ・講義6「先輩に学ぶ」
講師：羽生市立東中学校 教諭 小池 健太郎
(代理 羽生市立東中学校 教諭 渡邊 マユコ)
- ・受講者代表発表「教員生活2年目を迎えて」
発表者：三郷市立桜小学校 教諭 志賀 昇大

【午後】

- ・協議3「道徳の時間における指導方法の工夫」
- ・協議4「学習指導における実践と今後の課題」
指導講評：東部教育事務所指導主事

5 内容・受講者感想

講話 「2年次教員に期待すること」

東部教育事務所 所長 清野 定信

- 1 はじめに
- 2 生徒指導ができる教員に
 - (1) 生徒指導の機能を生かす
- 3 皆さんとの共感的人間関係のために
 - (1) 数々の失敗談 (2) ちょっとだけ、成功談
- 4 その他
 - (1) 条件付採用期間 (2) 経験人事 (3) 5年経験者研修の時に差がでる
 - (4) 20年後を見据えて成長を



【受講者感想】

- ・講話を聞いて、子供との信頼関係がいかに大切であるか学ぶことができました。特に「強い指導の裏側の愛情」という言葉が心に残りました。自分の今までの指導を振り返り、愛情のある指導を目指していきたいです。
- ・1年目の失敗を次に生かす大切さを学びました。去年は失敗ばかりで嫌になってしまうことが多かったけれど、去年の失敗があったからこそ、今年は気をつけてできていることが多いです。失敗をそのままにせず、改善してどんどん成長していける教師になりたいです。

講義 1 「東部の教育を担う教員として」

東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当

主席指導主事 今木 敏浩

- はじめに
 - 1 教育のプロを目指して
 - (1) プロフェッショナルとは
 - (2) 学力・学習状況調査の活用を
 - (3) 教員免許状の意味
 - (4) バイブルは学習指導要領
 - 2 問い続けられる教員、問いの質を高めることができる教員に
 - 3 教師はあこがれの存在、見られる存在
 - (1) 教師は役者、子供の前では笑顔 (2) 服務とは (3) 教職員事故防止
- おわりに



【受講者感想】

- ・まだ教員のプロになれていないと反省しました。子供たちにどんな力をつけたいのか考え、それに向かって知識や技能を高め、プロ意識を高めていきたいと思います。また、不祥事を起こさないように、気を引き締めていきます。
- ・教員として、向上心をもって質の高い教育をしたいと強く感じました。子供たちの笑顔や喜びいっぱいの学級にできるように、自分の職に自信と誇りをもち、教育にあたりたいと思いました。子供あっての職なので、子供を大切にしていきたいです。

講義 2

「生徒指導等に関する現状と課題」

東部教育事務所 指導主事 須永 清司

- 1 はじめに
 - (1) 生徒指導とは (2) 生徒指導が目指すもの
- 2 東部地区の児童生徒の問題行動等の状況
 - (1) 暴力行為 (2) 不登校 (3) いじめ
- 3 演習
- 4 おわりに これからの生徒指導で意識すること

【受講者感想】

- ・ いじめ防止のために、認知をすること、見届けをすることが重要であるということを改めて感じました。子供の様子や変化を敏感に感じ取れる教員になれるよう、視野を広くもっていきたいです。居心地のよいクラスづくりを目指して、一人一人の子供を大切に見守っていこうと思います。
- ・ 子供の成長、発達に応じて働きかけることができるよう、密にコミュニケーションを図ることを心がけていきたいです。また、子供たち一人一人が、自己存在感をもち、自分たちの居場所が感じられるよう、生徒指導に努めていきたいです。
- ・ 生徒指導は、子供たちを成長させる教育活動の要であると感じました。子供たちが向き合う諸問題に寄り添いながら、不安を取り除いてあげることができる教師になりたいと思いました。

講義 3

「学級経営の充実 ～学級経営のポイントと指導の工夫～」

東部教育事務所 指導主事 岩見 奈津枝

- 1 はじめに
学級経営のねらい
- 2 学級経営の内容
- 3 学級経営の方法
 - (1) 学級経営案の作成
 - (2) 潤いのある環境づくり
 - (3) 保護者との連携
- 4 おわりに

【受講者感想】

- ・ 学級経営においては、教室環境づくりから大切であり、潤いのある教室にすることで子供たちの発言力や自己肯定感も上がると思いました。また、保護者会の大切さも学んだので、保護者同士が情報交換できる保護者会を目指したいです。
- ・ 子供たち一人一人が能力を発揮できるように、よりよい学級の雰囲気づくりをしていきたいです。また、保護者の方々に、子供たちの様子をたくさん伝えていかなければならないと思いました。子供たちと少しでも多くの時間を過ごしていきたいです。
- ・ 学級掲示、学級経営について1学期を振り返るよいきっかけとなりました。学級掲示では、子供たちのがんばりが見えるような掲示や、より一人一人が輝くクラスにできるよう子供たちと共に成長していきたいと思いました。

協議 1

「生徒指導・教育相談上の課題と指導の工夫」

協議 2

「学級経営上の課題と指導の工夫」



【受講者感想】

- ・学級経営について改めて振り返ると、もっと様々な取組ができたと感じることがたくさんありました。同じ班の先生から子供の支援の仕方について教えてもらったので、とても参考になりました。
- ・先生方との協議で、それぞれの学校で起こっている問題を聞くことができました。不登校、SNSトラブルなど、原因は様々ですが、まずは事実を確認し、きめ細かい指導を行いたいと思います。
- ・生徒への指導の工夫だけではなく、教員間の連携についての悩みも共有できたことがよかったです。チームで対応することの重要性を確認できてよかったです。
- ・他の先生が、日頃からどのようなことを工夫して学級経営を行っているのかを聞く、とてもよい機会になりました。ぜひ、今後の指導に取り入れていきたいです。

講義 4

「道徳教育の充実 ～これからの道徳の授業のあり方～」

東部教育事務所 指導主事 山本 直人

- 1 はじめに
- 2 道徳科元年 知っておくべきこと
- 3 柔軟な道徳授業をつくるために
- 4 道徳科における評価
- 5 おわりに

【受講者感想】

- ・私は道徳の授業に対して苦手意識をもっています。校内でも研修を行っていますが、児童への発問や議論させる工夫が明確になっていませんでした。講義で学んだ内容をもう一度振り返り、2学期以降の道徳の授業を充実させていきたいと思います。
- ・振り返りシートで自分の道徳の授業について見つめ直すと、できていないことがたくさんあり反省しました。子供たちが自分との関わりで捉え、考えられる授業を展開できるように、教材研究からねらいを明確にし、自分の生き方について考えられるような発問の工夫や板書の工夫をしていきたいと思います。
- ・来年度から中学校で道徳が教科化されるにあたって、どのように評価を行えばいいのか不安なところがありました。今回の講義を通して、見取る方法や場面を知ることができたのでよかったです。
- ・道徳の授業を行うにあたり、どんな発問をしたら生徒が目的に迫れるのか悩んでいましたが、共感・分析・投影・批判的な発問をうまく活用して授業を工夫したいです。

講義 5

「よい授業のポイント（授業づくりについて）」

東部教育事務所 指導主事 和田 進

- 1 はじめに
- 2 よい授業とは
- 3 授業づくりの前に
 - (1) 授業づくりの前提 (2) 児童生徒理解 (3) 教材研究
 - (4) 授業が実施されるまで
- 4 授業づくりのポイント
 - (1) 導入の工夫 (2) 展開の工夫 (3) 終末の工夫
 - (4) 評価に関する工夫・改善
- 5 おわりに

【受講者感想】

- ・授業づくりについて、子供自身がめあてや課題を意識して学習をスタートすることが大切だと思いました。私も単なる伝達の授業ではなく、子供にとって明確ながんばりどころを示せるよう、活発的・主体的な展開をしていきたいと思います。
- ・自らの授業を振り返ることで、自分自身の課題が見えてきました。課題をもとにしてしっかりと目標をもち、児童理解と教材研究に努め、授業力の向上を目指していきたいと思います。
- ・授業で勝負するために、これまでの自分の取組や姿勢を振り返ることができました。日々業務に追われている状況ではありますが、この夏休み中に「実際に使ってみたい」と思ってもらえるような授業を目指し、準備をしていきます。

講義 6

「先輩に学ぶ」

羽生市立東中学校 教諭 小池 健太郎 先生

(代理：羽生市立東中学校 教諭 渡邊 マユコ 先生)

- 1 教育の未来
- 2 学級・学年経営～集団編～
- 3 部活動経営
- 4 おわりに

【受講者感想】

- ・「問題のない集団がよい集団ではない」というところがとても印象的でした。問題が起きたとき、解決できる集団がよい集団なのだという気持ちをもって、一人一人に真剣に向き合っていきたいと強く感じました。
- ・子供とどう向き合っていくべきかを改めて考えさせられる講義でした。先輩の先生の温かい指導法を聞いて、自分もまねしたいと思いました。「1秒でも一緒に、1秒でも長く子供たちの成長を見られる喜び」という言葉を日々実感できるように取り組んでいきたいです。
- ・「体育を教える」ではなく、「体育で教える」という言葉が心に残りました。すべての教育活動は、生徒の人生を豊かにするためにあるもので、「生徒のために」という思い、心得が大事なのだと再確認することができました。

受講者代表発表

「教員生活2年目を迎えて」

三郷市立桜小学校 教諭 志賀 昇大 先生

- 1 三郷市について
- 2 三郷市立桜小学校について
- 3 教員1・2年目の実践について
 - (1) クラスの合言葉 (2) 授業規律の徹底 (3) 体育を中心とした学級経営
 - (4) 保護者との信頼関係 (5) その他
- 4 これからについて

【受講者感想】

- ・ 掲示物の工夫や学習規律の徹底など、取り入れられる点が多くありました。同じ2年目の教師ががんばっている姿を見て、改めて自分もがんばろうと思いました。
- ・ よい学級経営を行う上で、学級の「合言葉」を決め、それを日々の活動や授業の中で生かしているところがすばらしいと思いました。体育の教材・教具の工夫などが分かりやすかったので参考にしたいと思います。
- ・ 目標を明確化することはとても大切だと思いました。同期の仲間たちがたくさんがんばっていることを再確認できました。今、この2年目が大切だと思うので、よく考えてやっていきたいと思います。
- ・ 小学校の先生の実践ではありましたが、中学校でも生かせる内容が多く、自分も「負けていられないな」と感じました。このように、同期で切磋琢磨しながら成長し続けたいと思いました。

協議3

「道徳の時間における指導方法の工夫」

協議4

「学習指導における実践と今後の課題」



【受講者感想】

- ・ 板書の仕方や、考え議論する道徳の実践について、様々な意見を聞くことができました。心のものさしや教具の工夫など、様々なアイデアを聞いたので役立てていきたいです。
- ・ 道徳を行う上での悩みや今後の課題について話し合うことができ、とても勉強になりました。各学校での取組についても学び、新しい考えをもつことができました。
- ・ それぞれの学習指導における工夫を知ることができ、とても参考になりました。主体的・対話的で深い学びにするためには様々な方法があるので、2学期からの実践に生かしていきたいです。
- ・ より深い学びとなるための実践方法を学ぶことができました。これからも、魅力のある授業づくりのために、日々の教材研究に励みたいと考えました。

6 感想記入用紙から

<第1日>

質問項目	回答 (%)				平均
	4	3	2	1	
1 研修に意欲的に参加することができた	87.7	11.9	0.3	0	3.87
2 研修の内容は、実践的で役立つものだった	84.8	13.9	1.3	0	3.83
3 研修に参加して疑問や不安を解消できた	65.2	31.1	3.6	0	3.62
4 研修で学んだことを今後に生かしたいと思う	92.4	7.3	0.3	0	3.92
5 研修に満足している	83.1	15.9	0.7	0.3	3.82

<第2日>

質問項目	回答 (%)				平均
	4	3	2	1	
1 研修に意欲的に参加することができた	86.5	12.9	0.6	0	3.86
2 研修の内容は、実践的で役立つものだった	81.0	16.5	2.6	0	3.76
3 研修に参加して疑問や不安を解消できた	63.9	30.6	5.2	0.3	3.58
4 研修で学んだことを今後に生かしたいと思う	92.3	6.8	1.0	0	3.91
5 研修に満足している	82.9	15.2	1.9	0	3.81

*両日ともに、4（あてはまる） ←————→ 1（あてはまらない）

7 成果

(1) 講義について

- ・ほとんどの受講生が真剣に講義を聞き、意欲的に受講することができていた。
- ・講義内容が実践的かつ豊富な内容であり、受講生のニーズに応えることができた。
- ・講義「先輩に学ぶ」では、学校で経験を重ね推進役として活躍している先生からの自らの体験に基づいた話ということで、受講生は熱心に受講していた。
- ・受講者代表発表「教員生活2年目を迎えて」では、自分たちと同じ2年次の教員からの話ということで、受講生は興味深く耳を傾けるとともに刺激を受けていた。

(2) 協議について

- ・午前中の講義内容と、午後の協議テーマをリンクさせて実施したので、受講生は意欲的、主体的に協議に臨むとともに積極的な交流・対話を行っていた。
- ・グループ協議を実施したことにより、悩みなどを共有し、今後の教育活動へ生かしていこうとする感想が見られた。
- ・班長を中心に、受講生がお互いに協力し合い、協議を進行していた。

8 課題

(1) 期日・日程について

- ・欠席者は、1日目が24名、2日目が10名であり、欠席理由は、林間学校引率（小学校）や、部活動の大会引率（中学校）が主であった。
- ・欠席を減らすために日程を変更することは、他事業との関係から難しい状況である。

(2) 会場について

- ・研修会場については、昨年度春日部市、今年度三郷市で実施したが、今後とも各市町教育委員会の協力を得て、会場地を決定していきたい。

(3) 研修内容について

- ・受講生のニーズに一層応えていくために、研修の実施方法や内容について工夫・改善していく必要がある。